




■単元名

1年下 せつめいする文しょうをよもう「じどう車くらべ」

■単元の特徴（ねらい）とデジタル教科書の活用について

本単元は、「しごと」と「つくり」の関係を捉えることが重要である。特に、「そのために」という言葉で繋がれている「つくり」については、「しごと」の内容に合う「つくり」が選択されて書かれていることに気づかせたい。そこで、デジタル教科書では、本文を「どうぐ」の「せん」で色分けして提示することで、児童の気づきを促したい。

■指導計画例（全7時間）

学習活動	◇指導事項・指導上の留意点 ◆評価規準（評価方法）	デジタル教科書の活用例（数字は学習活動の番号）
<p>①学習することの順序や方法を理解し、学習の見通しをもつ。</p> <p>②教科書を読み、内容を捉える。</p> <p>・新出漢字の練習をする。</p>	<p>◇自動車の名前だけでなく、「しごと」や「つくり」などを説明する文章を読むという学習内容を理解させる。</p> <p>◆自動車には色々な種類があることに興味を持っている。</p> <p>◇新出漢字を正しく書く。</p>	<p>デジタル教科書の活用例（数字は学習活動の番号）</p> <p>・<じどう車クイズ>を視聴し、自動車の「しごと」や「つくり」に興味を持たせる。（①）</p>  <p>・新出漢字の書き順や読み方を学習する。</p> 
<p>③「どんなしごとをしていますか」「どんなつくりになっていますか」という問題提起を読み取る。</p> <p>④バス・乗用車を読み、ノート（またはワークシート）に「しごと」と「つくり」を書く。</p> <p>・児童が発表したことを教師が線を引く。</p> <p>★⑤トラックを読み、ノート（ワークシート）に「しごと」と「つくり」を書く。</p> <p>・児童が教師用デジタル教科書を使って全体のモデルケースとして線を引く。</p>	<p>◇「どんな～か」という問題提起文の言葉に着目させ、問題提起について読み取らせる。</p> <p>・問題提起の文を視写させる。</p> <p>・写真や動画を見せ、「しごと」と「つくり」という言葉のイメージを広げさせる。</p> <p>◆問題提起が本文中のどこにあり、何を問うているのかを理解している。</p> <p>【学習活動④⑤⑥】</p> <p>◇「～しごとをしています。」「そのために～」という言葉に着目させ、それぞれの車の「しごと」と「つくり」について読み取らせる。</p> <p>◇「つくり」がどのように「しごと」に関わっているかを考えさせてから書かせるようにする。</p> <p>◇学習形態や方法をパターン化し、3つの自動車の「しごと」と「つくり」を読み取るという見通しを持って学習を進めることができるようにする。</p> <p>◇「マイ黒板」を使って、学習形態を工夫しながら徐々に難易度を上げていく。</p>	<p>・教科書画面に色分けをして線を引く。（④⑤⑥）</p> 

⑥クレーン車を読み、ノート（ワークシート）に「しごと」と「つくり」を書く。

・児童がデジタル教科書を使って全体のモデルケースとして線を引く。また、児童の教科書にも線を引かせる。

（活動例）

・「バス、じょうよう車」の場面・・・教師がデジタル教科書に線を引き、児童に示す。児童は、線の引き方を真似して教科書に引く。（問いに合わせて文章に線を引くことを学ぶ。）

・「トラック」の場面・・・児童が線を引いたところを発表させ、教師がデジタル教科書で確認する。（線の引き方を自分で考え行い、教師の見本と照らし合わせる。）

・「クレーン車」の場面・・・児童が線を引いたところを発表させる。その際に、児童自身に「マイ黒板」で抜き出させる。（線の引き方をモデルケースとして行わせ、全体で確認させる。児童は自身の引き方が合っているか友達の見本と照らし合わせながら確認する。）

◇線で引いた「しごと」や「つくり」をもとに、ノート（ワークシート）に書く。

◆それぞれのじどう車の「しごと」と「つくり」をノート（ワークシート）に正しく書き抜いている。

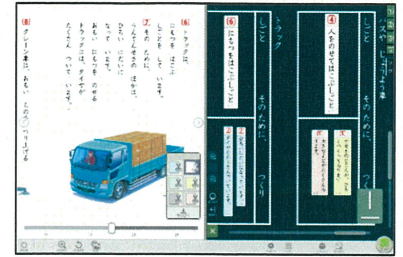
⑦自動車の「しごと」と「つくり」について教科書やデジタル教科書をもとに内容を振り返る。

◇<だいたいのないようをたしかめましょう>を使い、クイズ形式で大体の内容を振り返らせる。

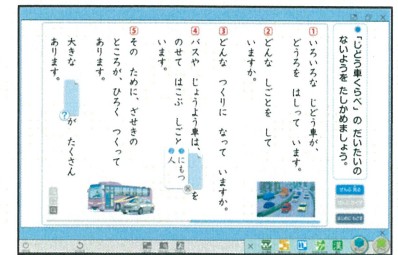
・他の自動車について動画等の資料をもとに「しごと」と「つくり」を読み取り、学習シートに書く。

◇児童の興味に合わせて、「ワーク」の動画を用いて、「しごと」と「つくり」について考えさせる。

・「マイ黒板」を使い、該当の文を抜き出す。（④⑤⑥）



・<だいたいのないようをたしかめましょう>を使い、クイズ形式で大体の内容を振り返らせる。（⑦）



・<しりょう>動画（はしご車）等を活用し、他の自動車について「しごと」と「つくり」を書く。（⑦）



■第5時の指導案

【本時のめあて】

トラックの「しごと」と「つくり」の関係について読み取り、それぞれノート（ワークシート）にまとめることができる。

【評価】

トラックがどんな乗り物かについて、「しごと」と「つくり」に分けて、ノート（ワークシート）にまとめることができる。

学習活動	◇指導上の留意点 ◆評価	デジタル教科書の活用例（数字は学習活動の番号）
<p>①P30の「トラック」を音読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朗読を聞く。 ・音読する。 	<p>◇音読する際は、デジタル教科書の「きく」を使い、その画面を見せながら行う。朗読を聞かせながら机間指導し、全員が正しく聞けているか、また正しく音読できているかをチェックする。</p>	<p>・「きく」を使って、朗読を再生する。(①)</p> 
<p>②トラックがどんなものを運んでいるか話し合う。</p> <p>③トラックの「しごと」について読み取り、ノートにまとめる。</p>	<p>◇児童の生活経験などを想起させることで、身近に走るトラックがどんな仕事をしているかを考えさせる。</p> <p>◇児童に教科書に線を引かせる。教師は「マイ黒板」で「トラックは、にもつをはこぶしごとをしています。」の一文を抜き出すことで、ノートにまとめやすいようにする。</p>	<p>・「マイ黒板」を使い、児童が答えた「しごと」について教師が線を引き、本文を抜き出す。(②)</p> 
<p>④トラックの「つくり」について読み取り、ノートにまとめる。</p> <p>⑤トラックの「つくり」が「しごと」にどう関わっているかを本文と挿絵をもとに話し合う。</p>	<p>◇「そのために」という言葉に着目させ、教科書に線を引かせた上で、代表児童にデジタル教科書を使って線を引かせる等することで、トラックの「つくり」を捉えさせる。</p> <p>◇「ひろいにだいになっています。」や「タイヤがたくんついています。」という言葉に着目させることで、トラックの「しごと」と「つくり」の関係について考えさせる。</p> <p>◆トラックがどんな乗り物かについて、「しごと」と「つくり」に分けて、ノートにまとめている。</p>	<p>・「マイ黒板」を使い、児童に文章を抜き出させ、全体で確認する。(④)</p>  <p>・挿絵を拡大し、文と絵を関連させながら、トラックの「しごと」と「つくり」について考えさせる。(⑤)</p> 
<p>⑥トラックの「しごと」と「つくり」の関係について振り返る。</p>	<p>◇ノートと「マイ黒板」を比較させることで、トラックの「しごと」と「つくり」が書けているかを確認させる。</p>	<p>・「マイ黒板」で、本文とワークシートを確認させる。(⑥)</p> 